



2015 12月号

Highlights

- ・この一年を振り返りました！
- ・英語ディベート、全国大会出場！
- ・寮生、力強く頑張ってます！
- ・受験シーズン到来！

保護者会主催: 11月教育講演会（大講義室）

保護者懇談会での学校からの説明

保護者懇談会での 学校からの説明①	1
保護者懇談会での 学校からの説明②	2
二学期を終えて	3
校長 柳井修	
寮だより	4
寮監長 楠田克彦	
進路指導部より 進路主任 後藤慎太郎 英語ディベート大会 APU主任 河野智治	5
カウンセリングルーム 林 智一 異文化交流会を実施 河野智治	6
生徒指導部より 指導主任 阿部順三	7
保健室より 養護教諭 野村めぐみ	
お知らせとお願い	8

11月21日(土)に保護者懇談会が行われました。体育館では9時30分より例年どおり学校から今年度の各分掌の取り組みについて説明がありました。早朝より多くの方が参加されました。

以下は説明会の内容です。

1. 校長 柳井 修

- 3号館建設へのご寄付の御礼
 - 基礎学力の定着について
 - 医進クラスについて
 - 校内のできごとなど
- ※詳しくは3ページをご覧下さい。

2. 教務部より 立川 英季

☆「自分を伸ばすために必要な力」とは？

①「修正する力」

追試（再テスト）は合格するのが当たり前です。先生の怒りがおさまる、あるいは忘れるのを併んで待つようなものではありません。もし知識が欠けている所やミスが

あつたら（仕方ない場合もあります）、次には必ず修正して下さい。でないと、先に進めません。「思いつき」や「運任せ」で出した結果は、自分自身で信用できません。ということは、その上に何かを積み上げることもできないということです。

課題プリント・小テスト・考查問題など、学校で扱う「問題」と名の付くものは全て、「やり直しで満点」にして終わって下さい（それを憶えるのはまた別の作業です）。

「がんばる」つもりなら、まず「小テストの準備」と「宿題の提出」をカンペキに！

②「分ける力」

「今日の呼び出しへは？」とビクビクしたり、「あんな問題どうせゼキンし…」と逆ギレする前に、一回、大きなテーブルにカバンの中身を全部出してみましょう。無くしたと思っていた課題プリント

次ページへ続く

↓懇談会前の授業参観（中1）



↓柳井(校長)



↓後藤(進路)



↓川元(特活)



↓阿部(指導)



↓立川(教務)





学園だより

前ページからの続き

やり直しを怠られたままの小テスト、この前配られた文庫本…、知らないうちに貯め込んでいませんか？一度全部を見てから「要るもの／要らないもの」、「急ぐもの／まだ期限に余裕があるもの」に分けましょう。

③「続ける力」

「テスト満点！」「学年トップ！」などでなくても、「課題の提出」や「小テスト合格」、もっと言えば「忘れ物ゼロ」でも、それを続けるには意識と努力が必要です。「なんなくやってたら…できちゃった」というものではありません。それを支える明確な目標と、「自分は…やれる！」という小さな自信の積み重ねが、大きな成果を生むのです。

あなたがやる勉強は、将来のあなたの「生き方」を決めます。
「～だけやっとけばいいですよね？」とか、「…忘れました」とか、「わかりませーん」なんて言葉で、あなた自身の人生を決められたくないですよね？

医者になりたい、弁護士に…、学者に…、あこがれるのは自由です。むしろ大いにあこがれて欲しいのですが、その「あこがれ」を現実にするために、「今、どういう自分でるべきか？」考えていますか？

「こうやれば近づけるはずだ！」がわかっていますか？

それが無ければ「父ちゃんは若いころ、ジャニーズに入りたかったんだ！」と酔っぱらってグチるオヤジ（さん）と一緒にです。30年後の昔話のネタで終わらせないで下さい。

勉強は「（親や先生に）怒られないために」やるのでありません。「今度の期末考査を乗り切るために」やるわけでもありません。

希望の大学・学部に合格したら、晴れて解放されるようなものでもありません。

あなた自身が、明日から、今後何十年に渡るまで、自分に課された仕事（勉強も含む）・活動・プロジェクトにどう立ち向かうか？周囲からの「期待」や「責任」や「願い」をどのくらい背負えるか？自分の「夢」や「憧れ」をどれだけ現実にできる人間か？

それを知るために続けるのです。

ぜひ「自分に自信が持てる勉強」にして下さい。

3. 生徒指導部より 阿部 順三

全体的に落ち着いた学校生活を送ることができます。現在、いじめ防止、盗難防止、校内での携帯電話使用防止の目的で校長・教頭を含む全職員ローテーションによる「校内巡回」を実施しています。学校が安全で、安心して生活できることを目的とした取組みです。

本校では、貴重品は朝礼時に担任へ、部活動時は顧問へ預けるように（又は個人ロッカーを施錠して自己管理する）指導しています。不要な金銭を持たせないことや自己管理の徹底をご家庭でもご指導ください。また、多くの生徒が使用しているスマートフォン等によるインターネット利用についても（1）適切にインターネットを利用させる（2）家庭のルールを作る（3）フィルタリングなどを設定する等、お子さんの規則正しい生活習慣構築のため、何卒よろしくお願いいたします。

4. 特活部より 川元 威彦

★学校行事についての報告

①歓迎遠足&避難訓練

4月15日（水）に平和市民公園にて新入生歓迎遠足が行われました。この時、津波災害における避難場所である舞鶴高校第2グラウンドとマックスパリュー桜坂店への避難経路を確認しました。

②芸術鑑賞会

4月23日（木）にホルトホールにて芸術鑑賞会を行いました。今年度は、吉祥じゅん＆ワルキューレによる演劇『八犬伝』を鑑賞しました。

③クラスマッチ

7月8日（水）・9日（木）・14日（火）に2学年ずつでクラスマッチを行いました。

④夏季訓練

7月16日～18日に中2・中3、17～19日に中1の夏期訓練を以下の場所でそれぞれ実施する予定でしたが、台風接近のために今年度の夏季訓練は中止となりました。

※中1：マリンカルチャーセンター

中2：国立阿蘇青少年交流の家（熊本県）

中3：久住スポーツ研修センターにてアメリカンサマーキャンプ

⑤学園祭

9月16日（水）～21日（月）に本校最大のイベントである学園祭が行われました。今年度は3号館の工事も重なったうえ、ホルトホールの施設利用の関係で日程も例年とは違うものとなりましたが、「航海」というテーマのもと、ペーラド生徒会長をはじめ、生徒が中心となって企画運営を行いました。その学園祭の詳細については、DVDなどをご覧下さい。

⑥生徒会長選挙

11月11日（水）に第31期生徒会長選挙が行われ、高校1年生の和田修人さんが当選しました。彼を中心にはまずは執行部を決定し、その後各委員会を決定していきます。

※ 今年度の強歩大会は、予定通り2月に行う予定です。

★部活動について

・現在の岩田の部活動数について

現在、岩田には7つの運動部と8つの文化部の合計15の部があります。なお、今年度からバレー部が活動停止となりました。

・練習について

原則として、日曜日に部活動は行いません。また、各部とも週に一度は必ず休日を設けています。ただし、大会前などはこの限りではありません。

5. 進路指導部より 後藤 慎太郎

今年は、偏差値やペネのG TZについて話をしました。

偏差値は、問題の難易度にかかわらず、全受験者の中の自分の位置を客観的に知ることができる目安の一つです。そして、「合格ライン」は、昨年度入試に合格した受験生が、高校1、2年生時の進研模試で取った平均点偏差値と平均得点を掲載しています（1、2年生用は中3～高2、3年生用は高3の生徒全員に配布）。進研模試の結果が返ってきた時に一緒にこの冊子を見ていただけで、次の目標設定に役立てていただければ幸いです。

また、ペネがこれらの模試の全国偏差値から算出した学力指標が「G TZ」です。中学1、2年生の学力推移調査（年3回受験）でもG TZは出されていますので参考にされて下さい。



今年度のご報告

今年もいよいよ残りわずかとなってしまいました。日頃から本校の教育活動に対して御支援・御協力をいただき深く感謝いたします。さて、例年のこととなりますが、今年度の主な教育活動に関してご報告いたします。

◆3号館改築にあたってご寄付のおれ

現在改築工事が行われております。工事は現在10日ほど遅れているようですが、予定どおり3月には竣工式を行う予定です。つきましては、保護者や卒業生および卒業生の保護者の皆様にご寄付のお願いいたしております。お陰様で現在、200を超える個人・団体の皆様からご寄付を頂いております。この場を借りて心より御礼申し上げます。

学園といたしましてはご寄付を頂いた皆様方のご厚意に感謝するため、お名前を記した銘板を3号館に掲示して末永く顕彰させて頂こうと考えております。寄附に関しては今年度と来年度の2年間募って参りますが、一応今年度分を一区切りとしまして3月末までご寄付を頂いた方々のお名前を顕彰させて頂こうと考えております。なお、銘板のご披露は来年5月の予定です。

◆第33回学園祭

～「航海(帆を張れ、砲を上げろ!)」

今年度の体育大会は北軍がなんと5連覇、14回目の優勝を飾りました。大会は午前中は接戦だったものの午後からは北軍が優位に立ちそのまま押し切りました。北軍の5連覇と言うことは、いよいよ南軍の高3は来年初勝利をめざすことになります。6年間の体育大会で一度くらいは勝利の喜びに浸りたいですよね。来年はまた熱い戦いになるのでしょうかね。今から両軍の健闘をお祈りします。

芸能祭は、今年で2度目のホルトホールでの開催でした。ホルトホールまでの移動がたいへんですが、施設も整っており、会場としては申し分ありません。今年の芸能祭は昨年に比べ演目が減りましたが、それぞれによく頑張っていました。

今年はダンスが減って、演劇が多かったです。その分裏方で支えたAパートの生徒はたいへんだったと思います。しかしAパートの生徒の動きがたいへんよく、演目と演目のつなぎがたいへんスマーズで、見る観客が間延

校長 柳井 修

びせず鑑賞することができました。これは来年もぜひ見習ってもらいたいと思います。

最終日の岩田生の主張、5年演劇は、いずれも今年の最後を飾るにふさわしいものでした。特に岩田生の主張で最優秀となった向江なつみさんの「ONE劇は未だに私の心に残る秀作でした。演劇は演技力もさることながら、発声が非常に良く、よく練習されていると思いました。2日間のホルトホールのステージに立った生徒は思い出が一生の財産になるのではないかと思います。校内装飾・パンフレットは「航海」というテーマにそった力作が並びました。体育館の装飾も良かったですし、渡り廊下の全校生徒のメッセージもたいへん良いアイディアです。

パンフレットの出来映えも良く、私は特に表紙が気に入りました。今年は日程や施設がこれまでと異なり苦労が多かったと思います。しかし、全校生徒の力で多くの課題を見事に乗り越えました。今年もまたすばらしい学園祭ありがとうございました。

◆基礎学力の定着

今年の大きな目標として基礎学力の定着を掲げています。特に義務教育を行う中1、中2でしっかりととした学力を定着させようと考えています。そこでまず中1、中2は7限に習熟度別に英数国3の復習の時間を設けました。その週の基礎学力の定着を図るために、各学年で定期的に学年会議を開いています。また、習熟度別にしたのはよりきめ細かな指導をするためです。さらに学年末考査は試験範囲を広げ、1年間の総復習を行うようにいたします。

◆医進クラスのスタート

今年度中3からスタートしました。この教育プログラムの柱は3つからなっています、「医学受験講座」（8限補習）、「医学研究講座」（医師・看護師・研究者による特別講座）、「医学体験講座」。このうち「医学受験講座」「医学体験講座」はスタートしており、とりわけ「医学体験講座」は大学や地元の医療法人に御協力をいただき、充実した内容になっております。今後も他校にない特色ある内容にしていきたいと思います。

◆その他の話題

今年はうれしい話題もありました。高校軟式野球部が創部27年目にして県大会初

優勝を飾りました。北部九州大会にも出場し、決勝で敗れたものの準優勝を飾りました。また、中学新人戦においてはテニス部が大分市大会で優勝し、県大会でも準優勝いたしました。うれしいことに校長室には現在2本の優勝旗が飾られています。

また、APU立命館コース5-4生徒が大分県英語ディベート大会で2チーム出場し今年も1位、2位を独占しました。上野高、舞鶴高、農府高といった強豪校を破つての2連覇はたいへん立派です。両チームは佐賀で開かれた九州大会に出場しましたが、予選を全勝したもののポイント差で決勝トーナメントには残念ながら進むことができませんでした。また1位のチームは岐阜で開かれる全国大会にも出場しますのでぜひこの奮闘を果たしてもらいたいと思います。他校に先駆けグローバル人材の育成をめざしてこのコースも着実に実績を積み重ねております。

例年どおり10月は高1IWATAコースの生徒がオーストラリア修学旅行に行きました。ホームステイをしながら現地の学校へ通うこの修学旅行は9回生から始まり20年以上続いています。日程的にはたいへん厳しいのですが、現地校でお世話係のバディと仲良くなったり、ホームステイ先のファミリーと異文化体験をしたり、現地スタッフの御協力もありたいへん充実した研修になっています。生徒たちも一生の思い出となつたことでしょう。

◆たくさんのご意見を頂きました。

7月には保護者のみなさんに学校評価をしていただきました。例年のことながら多くのご意見を頂きました。お褒めのお言葉も数多く頂戴し元気倍増しましたが、苦情のお言葉も寄せられました。これらは職員研修会で反映させていただきました。先日は生徒に授業アンケートをとり、授業をしている先生一人一人を評価してもらいました。





進路指導部より

来年の大学学部新設・再編が活発化しています。特に注目を集めているのが、医学部では37年ぶりの新設となる東北医科薬科大(東北薬科大より名称変更予定)の医学部医学科(入学定員100名)です。2016年度は国立2大学、私立7大学の入学定員の増員(28名)と合わせて128名の入学定員増となり、国立4,934名、公立844名、私立3,484名の計9,262名となります。また、医療系の2学部5学科を千葉県成田市に開設した国際医療福祉大も、17年には同市の国家戦略特区の計画に基づいて、医学部を新設することが決まったようです。

医学部以外では教育学部の総合科学課程(ゼロ免課程)の廃止と教員養成への特化や、「国際(グローバル)」「地域(ローカル)」をキーワードとした新学部の設置、文系学部から理系学部への定員のシフトなどが挙げられます。グローバル系はここ数年新設が続き人気も高く、千葉大(国際教育)、学習院(国際社会科)や、改組などにより長崎県立大(国際社会)等があり、日本大(危機管理)もグローバル化をキーワードの一つに挙げています。ローカル系では、

進路指導主任 後藤 慎太郎

地域の活性化を担う人材育成を目指して、佐賀大(芸術地域デザイン)、宮崎大(地域資源創成)など、国公立大の新設が目立ちます。最近は、多様な分野が融合した学部や学科が増えています。学科の名前だけでは判断し辛いものや、想像していたものは全く異なることもありますので、高校1、2年生もまだ先のように思えるかもしれません、自分が行きたい大学をしっかりと把握するためにも、HPや大学案内などを取り寄せて見るようにして下さい。

昨年12月に中教審が高大接続のあり方にについて答申を出し、この9月には高大接続システム改革会議が「中間まとめ」を発表しました。新たに判明したことは、2つの新テストの実施方法や内容が、現行学習指導要領で実施される期間と次期学習指導要領で実施される期間とで分けられたことです。「高等学校基礎学力テスト」は現行教育課程下で実施される2019～22年度は入学者選抜に利用しないことが明言されました。「大学入学希望者学力評価テスト」では、本格的な文字数の多い記述式の出題は次期教育課程下の入試がスタートする2024年度以

降となり、CBTについても全面的な導入は見送られ、「試行に取り組む」といった扱いになりました。なお、実施回数、次期は今後の検討課題とされ具体案は出てきていません。

新テストに関するポイント

* 次期学習指導要領対応 以降に実施・活用方法を変更

* 基礎学力テスト

- ▶ 2019～22年度は入学者選抜に利用しない
- ▶ 学校単位での参加が基本
- ▶ 導入当初は科目は「国語」「数学」「英語」「国語総合」「数学」「英語」を出題範囲上限とする
- ▶ CBT・IRTの導入を検討

* 評価テスト(2020年～23年度)

- ▶ 試験の科目数はできるだけ簡素化
- ・「思考力・判断力・表現力」を重視
- ・英語については4技能を重視
- ▶ 記述式問題：短文記述式問題を導入
- ▶ CBTの試行に取り組む
- ▶ 年複数回実施・日程は、高大関係者の意見を踏まえ今後検討

* 評価テスト(2024年度～)

- ▶ 「数理探究」「情報」「対応する科目も実施
- ・高難度の出題を行なうことも検討
- ▶ より文字数の多い記述式の問題を導入
- ▶ CBTを導入

今月の出来事

高校生英語ディベート大会 県大会優勝・準優勝！ 九州・全国大会進出！ APUコース主任 河野 智治

11月7日(土)、APUコース5年4組9名と岩田コース1名から成る2チームが英語ディベート大会大分県大会に出場し、両チームともに優勝・準優勝を勝ち取りました。ディベートでは、1つのテーマを賛成意見・反対意見の2チームに分かれで英語による弁論力を競います。今回のテーマは「Japan should contribute more actively to the United Nations Peacekeeping Operations by relaxing its restrictions for the Self-Defense Forces.」でした。6月の国際ディベートプレ大会(△P△U会場)からディベーターとして大きく成長を遂げた生徒は堂々たる姿で論議をしていましたが、それでも勝った際には涙で喜びを分かち合っていました。先日、新聞でもチームの功績が称えられました。12月5日(土)、この2チームで九州大会(佐賀会場)に進出しました。1チームは非常に

拮抗した試合展開でしたが、一步及ばず予選リーグで敗退しました。もう1チームは予選リーグで全勝しましたが、同じ勝ち数の他チームと得失点差で破れ予選リーグを敗退しました。試合内容としてはこれまで一番良く、日々の練習の成果を十分に發揮出来たものでした。自身の努力、共に闘う仲間、励まし支えて下さる方々、優れた対戦相手、成長の機会を下さった大会運営の方々への感謝の気持ちを持ち、この大分・九州大会を終えました。貴重な体験のもと「大舞台で闘える！まだ成長できる！」という気持ちを胸に抱いて、来たる12月19日(土)・20日(日)の全国大会(岐阜)に向けて頑張ります。応援して下さった方々、ありがとうございました。今後も変わらぬご支援ご鞭撻お願いいたします。



一県大会で奮闘する生徒達



→ 表彰を受ける生徒達



カウンセリングルームより～よく記憶するために～

いきなりですが、まずは実験してみましょう。下の図1の数字を5秒間見て、覚えてください。

図1
1 4 9 1 6 2 5 3 6 4 9 6 4 8 1

さて、いくつ覚えていましたか。記憶力に自信があるという人でも、9個くらいが限度ではないでしょうか。

では、次に下の図2をやはり5秒間見て覚えてください。

図2
1 4 9 1 6 2 5 3 6 4 9 6 4 8 1

今度はいくつ覚えていましたか。おそらく、図1よりも多くの数字を覚えられたのではないでしょうか。

記憶には、感覚記憶、短期記憶、長期記憶の3種類の状態があります。情報が視覚（目）や聴覚（耳）から入ってくると、短時間（視覚情報で約1/4秒、聴覚情報で約1秒）そのままの状態で保存されます。それが感覚記憶です。

そこから選択された情報が数秒～1分程度、保たれる短期記憶となります。短期記憶の情報がリハーサルという記録活動（覚えること）を通じてうまく符号化されると、長期記憶になります。長期記憶は数分～数年にわたって保持され、容量はほぼ無限です。

ところで、短期記憶の容量は、7±2チャックです。チャックというのは、「意味を持つひとまとまりの単位」のことです。

いきなり専門用語が出てきて、ちょっと理解しにくいかもしれませんので、具体的に見ていきましょう。

図1の場合は、15個のランダムな数字が並んでいるので、15チャックということになります。短期記憶では7±2チャックが限界ですから、図1で覚えていられる数字は5～9個が限界ということになります。

それに対して図2では、下線ごとにひとまとまり（1チャック）になりますので、「1」「4」「9」「16（ジュウロク）」「25（ニジュウゴ）」…と覚えれば、9チャックですみますね。これなら、なんとか全部覚えられたかもあったでしょう。

さらに、よく見ていただくと、「1」は「1の二乗」、「4」は「2の二乗」、「9」は「3の二乗」…となっていますね。「1～9までの数字を二乗したもの」だということが理解されれば、これは1チャックですみます。したがってたった5秒でも、15個の数字すべてを覚えることができるのです。

このようにいくつかのチャックをまとめ、チャックの数を小さくすることを「体制化」と呼びます。それによって短期記憶の情報が長期記憶に組み込まれていくのです。「1～9までの数字を二乗したもの」という内容なら、一度覚えてしまえば、忘れませんよね。この実験から、中身をよく理解して記憶することが大切だということがご理解いただけましたでしょうか。

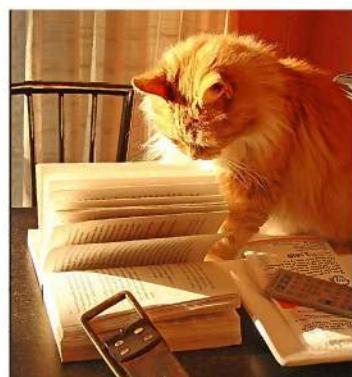
短期記憶を長期記憶に組み込む方法と

スクールカウンセラー 林 智一

して、そのほかにも連想を利用したり、イメージ化したり、文章化したり、といった方法があります。たとえば、「鳴くよウイス平安京」で「794年、平安京遷都」を覚えるような語呂（ごろ）合わせなどが有効なのです。

これらの方法を用いて、情報を効果的に長期記憶に組み込む工夫をすることが、記憶力を良くして、勉強の効果をあげるための近道であると考えられます。ほかに方法がなければ、丸暗記もまったく無意味とは言えませんが、学習する内容をよく理解し、どのような覚え方が有効かを考えながら勉強したほうが効率的なのは確かでしょう。

このように、心理学の知見が勉強のしかたなどに役立つこともありますので、関心のある方は教育心理学や学習心理学、認知心理学などの本を読んで勉強をされると良いかと思います。心理学についてもっと知りたい、と思われたかたは、水曜日の13時～17時、カウンセリングルームにてお待ちしております。



APU立命館コース 異文化交流会を実施しました。 APUCourses主任 河野 智治

11月30日(月)上記のプログラムが本校で行われました。中国の高校生27名と本校APUコース生(4-4, 5-4)37名が授業と一緒に受け、その後に交流会を設けました。体験授業では、本校の英語と国語、体育（体育館）を受け、日本の学校教育を肌で感じていました。その後の交流会では、中国の高校は歌を披露し、APUコース生は英語でのプレゼンを発表しました。フリートークの時にはすっかり打ち解け、同じ世代間で互いに刺激を与え合いながら、異文化交流を深めることができました。

APUコースでは、このような交流プログラムを積極的に取り入れ、国際人としての自覚を高めていきます。



12月24日(木)から1月7日(木)まで冬季休業となります。自己を見つめ直す絶好の機会です。目標を立て、その実現に向けて頑張りましょう。以下に生活心得を示しますので確認しておいて下さい。

1.家庭での生活について

- (1)1日の生活時間の計画を立て、規則正しい生活を送りましょう。
- (2)健康管理に注意しましょう。また、虫歯や疾病などの治療を休み中に行いましょう。
- (3)積極的に読書の時間を見つけ、幅広い教養を身につけましょう。

2.学習について

- (1)2学期の学習について反省し、不得意教科については、その学習内容を十分復習して3学期に備えましょう。
- (2)各教科から出されている課題を計画的に進め、始業日に全教科提出しましょう。
- (3)1月15日(木)、16日(金)に実力考査を実施します。

3.交通安全・公共マナーについて

- (1)交通ルールを遵守し、事故に遭わない・起こさないようにしましょう。もし、事故に遭ったり・起こしたりした場合はそれが小さな事故でも必ず警察に通報すること。相手の名前や連絡先、車の場合はナンバーと車種・色を確認すること。あわせて学校・担任にも連絡をして下さい。
- (2)自転車の道路右側の路側帯通行、二人乗り、並進、傘差し運転、信号無視等絶対にしてはいけません。また、自転車運転中に携帯電話の使用や画面の注視は禁止。大音量で音楽を聴くことやヘッドホンなどを使用しながらの運転

も禁止です。違反者には5万円以下の罰金が科せられます。

- (3)自転車は防犯登録をし、必ず施錠(ロック)するようにしましょう。
- (4)自転車は所定の場所に駐輪し、決して点字ブロックや歩行者の邪魔になるような場所には留めないようにしましょう。また、トキハ前道路(中央通り)の歩道は駐輪禁止となっています。
- (5)JR・バスの中、公共の施設ではマナーや施設の規則を守り、他の人に迷惑にならないようにしましょう。特に、JR・バスでは高齢者や身体の不自由な人には積極的に席を譲りましょう。
- (6)運転免許の取得は禁止です。また、無免許運転をしてはいけません。

4.校外生活について

- (1)外出について
 - ・外出の際は必ず家人に行き先、用件、帰宅時間を知らせておくこと。
 - ・外出の際の服装は制服または清楚なものとし、必ず身分証明書を携帯すること。
 - ・夜間外出については、中学生は19時まで、高校生は21時までとする。なお、女子については、日没後の外出を慎むこと。
 - ・深夜(午後11時～翌日の午前4時)の青少年の単独、もしくは集団での徘徊は「青少年のための環境浄化に関する条例」で補導対象となります。保護者同伴であっても許可されません。
 - ・次にあげる場所は生活指導上好ましくないので保護者同伴でない限り立入を禁止します。
 - 喫茶店・カラオケボックス、インターネットカフェ(飲酒・喫煙を伴う恐れるある場所)・ゲームセンター・ゲームコ

ーナー(高額の金銭負担につながる遊技場)などまた、日没後、公園、寺社やその境内、墓地には立入禁止です。

- (2)部活動・練習試合等・自主登校について
 - ・普段の登校と同様、制服、体操服、部でそろえたもので登校し、貴重品に関しては必ず、部の顧問、担任に預けること。
 - ・自転車も許可されている生徒のみで、携帯電話は持ち込み禁止(許可者でも校内での使用は禁止)。他校への練習試合などでも同様です。

(3)旅行・登山について

旅行や登山などを行うときは、必ず保護者の同意を得て、事故が無いようにつとめましょう。なお、冬山登山は危険ですので控えること。

- (4)補導を受けたとき
 - 万一、警察官・補導員より補導を受けた場合は、身分証明書を提示し素直な態度をとること。
- (5)アルバイトは禁止です。
- (6)飲酒・喫煙・窃盗・万引・薬物乱用などの反社会的行動はしてはいけません。

5.インターネットなどについて

- (1)最近はインターネットでの出会い系サイトなどの有害情報によるトラブルや犯罪にあう被害が急増しています。パソコンや携帯電話などのそのようなサイトの利用を禁止します。また、保護者の方は必ずフィルタリングをかけて下さい。また、かけたフィルタリングをはずすことがないようにお願いします。(詳しくは携帯電話各社にお問い合わせ下さい。)
- (2)インターネット上の掲示板・ブログ・プロフなどに他人に対して誹謗・中傷を決して書き込んではいけません。

ほけんしつから

養護教諭 野村めぐみ



今年も残すところあとわずかとなりました。1年間、健康に過ごすことはできたでしょうか?

岩田学園では12月に入り、感染性胃腸炎に罹患しているお子さんが急増し、放送や各クラスで「手洗い・うがい」を呼びかけ、感染拡大の防止に努めました。

12月中旬に入り、罹患者はだいぶ減りましたが、まだまだ油断できない状況です。各ご家庭でも手洗い・うがいの励行をお願い致します。また、「感染性胃腸炎」と診断された場合には、出席停止となります。授業の進度など気になると思いますが、感染を拡大させないために完全に治癒してからの登校をお願い致します。

～29回生WYSHプロジェクト～

12/15(火)、12/18(金)に5年生IWATAコースWYSH授業を行います。

授業の様子については後日学園便りにてお知らせ致します。



今年も残すところあとわずか。一年たつのは早いですね。
よい年をお迎えください。来年もよろしくお願ひします。
～岩田学園職員一同

保護者会 ボウリング大会が行われました。

12月5日（土）午後、大分市のROUND1にて、保護者会主催のレクリエーションボウリング大会が行われました。

当日は、保護者・教職員合わせて33名が参加、3人一組のチームに分かれて熱戦が繰り広げられました。

ご参加された皆様、準備・運営にあたられた幹事の皆様、ほんとうにありがとうございました。（橋本）

同窓会(樟友会)総会のお知らせ



年々盛大になってまいりました樟友会総会が今年も例年どおり12月30日に行われます。お知り合いの卒業生がいましたら、ご連絡をお願いします。（河野）

☆日時：12月30日（水）
受付開始16:00～
総会開始16:30～
懇談会 18:00～（終了19:45）
☆会場：大分レンブランthouse
☆会費：5,000円（1～16回生）
3,000円（17～23回生）
2,000円（24～27回生、現・旧職員）

受験シーズン到来！岩田中高願書受付始まる。

大学入試は指定校や一般推薦の入試がほとんど終わり、志望校合格の報告が続々と届いています。IWATAコースの生徒はいよいよ大学入試センター試験に向かって最後の追い込みとなります。また、APU立命館コースの生徒は、全員の進学先が内定しました。

本校の来年度の募集も始まり、初日12月7日（月）にはたくさんの保護者が志願票を持って来校しました。中学、高校入試とも昨年度と同様の形態で実施します。

中学入試は1月4日に学科試験（専願・一般共通）を実施し、5日に面接（専願）を行います。受験生がいるご家庭に吉報が届くことを心からお祈り申し上げます。今後の日程は次の通りです。

■岩田中学の入試日程

12月14日（月）専願・一般入試願書締切り
1月4日（月）専願・一般入試（筆記試験）
5日（火）専願入試（面接）
6日（水）専願・一般人試 合格発表

16日（土）入学手続き締切り

23日（土）入学者登校日

■岩田高校の入試日程

1月16日（土）推薦入試願書締切り
1月19日（火）推薦入試および合格発表
23日（土）一般[前期]入試願書締切り
28日（木）推薦入試 入学手続き締切り
2月2日（火）一般[前期]入試及び合格発表
12日（金）一般[前期]入試手続き締切り
13日（土）推薦・前期の入学者登校日
3月19日（土）一般[後期]入試願書締切り
21日（月）一般[後期]入試及び合格発表
後期の入試手続き締切り
後期の入学者登校日

◆その他

- ・入学式 4月3日（日）
- ・校外オリエンテーション
4月6日（水）、7日（木）

教員アンケート集計について～詳細は1月号で掲載～

例年、本校では生徒が先生を評価する授業アンケートを行っています。生徒には授業を受けている先生一人一人に対して、8項目を5段階で評価してもらいます。

11月中にアンケートを実施し、12月中にデータ処理し、その後、全職員を対象とした研修と個別に助言する機会を設け、今後の指導に活用していきます。

学年・クラス・男女別の個人表は、各教員へ直接配布し、学年や教科の平均などの

表は全員へ配信する流れです。個人表は約700枚、全体表は200枚、合計で900枚を超える資料になります。

結果を真摯に受け止め、いかに授業力を向上させていくかが教師の責務です。

来年度に行う「保護者アンケート」でも積極的なご意見・ご感想をお願いします。

「やる気が出る」、「わかりやすい」授業が実践されれば、飛躍的な成績伸長を遂げることができます。

<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck！

能力の差は小さいが
努力の差は大きい

脚力尽くる時、山更に好し。
輝ける未来へ、全力でサポートします！



December 2015 edition

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校